

心もとなければ、たゞ日のへぬるかすを、けふいくかはつかみそかとかぞふれば、およびもそこなはれぬべし、

〔武德編年集成 六十六〕慶長十九年九月廿九日駿府ノ獄舎ニ於テ、邪蘇ノ徒清安、同獄ニ有ル罪人兩輩ヲ宗門ニ勸メ入、是ニ依テ清安ガ十指ヲ斷テ、額ニ十文字ノ焼印ヲ成シテ放逐セラル、

〔倭名類聚抄 手足 拇〕國語注云、拇母反和名於保於與比、大指也、

〔箋注倭名類聚抄 手足 拇〕皇極紀、頭指訓於保與比、非、頭指之非、大指、食指條詳之、醫心方、母指訓於保

由比、按於保於與比、今俗呼於也由比、中國語注二十一卷、魏韋昭撰、所引楚語注文、按說文、拇將

指也、段玉裁曰、足以大指爲拇、手以中指爲拇、手足不同、稱引大射禮注、左傳注、易咸卦、舊注爲證、然

此列在膈後、食指前、明以拇爲手大指、蓋其說不同、易解卦釋文引王肅、以拇爲手大指、或源君依之、

〔類聚名義抄 手 拇〕オホキナリ、母指 同 大指 同

〔伊呂波字類抄 於 人 體 拇〕オホキナリ、大指也、亦作拇

〔增補下學集 上 二 於 人 體 拇〕大指

〔倭訓栞 於 中 編 三十〕おやゆび 大指をいふ、孟子の巨擘も同じ、

〔續古事談 五 諸道〕昔ハ諸道ノ博士ナドハ、裝束執スル事ナカリケルニヤ、光榮ト云ケル陰陽師、上東

門院ノ御産ノ時、アサマシゲナルウヘノキヌ指貫ニヒ、ラグツハキテ、ビムモカ、デ中門ヨリイ

リテ、ハシガクシノ間ヨリノボリテ、フトコロヨリ白虫ヲトリ出シテ、高欄ノヒラゲタニアテ、

大ユビシテ殺シケリ、ウヘノキヌノシタニハ、布ノアヲトイフ物ヲゾキタリケル、

〔吾妻鏡 二十八〕寛喜三年三月二日、晚景、將軍家御足大指、以刀令突切、給之間血出、諸人群參、御所中

騷動云云、然而無殊御事云云、

〔倭名類聚抄 手足 食指〕左傳云、食指楊氏漢語抄云、頭指、比止、佐之、乃指、第二指也、

拇

食指